

タイムリーな畑かん用水の利用により、にんじんの高生産性を実現 ～臼井 富高 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成17年	事業実施後：平成28年
基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、 にんじん、ごぼう	基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、 大豆、にんじん、ごぼう
経営面積：32.0ha	経営面積：38.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

農地造成、区画整理による経営規模の拡大を進めるとともに、畑かん用水の整備により防除作業の省力化が図られた。加えてリールマシン導入によりかん水効果を確認しつつ、高収益作物としてにんじんの作付拡大を実現し、畑野菜経営を安定化した。

営農改善のポイント

①畑かん用水の適期利用

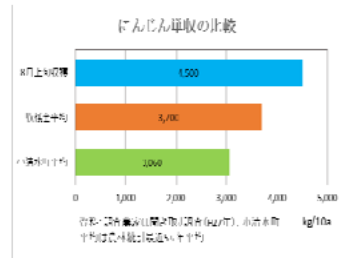
経営面積のほぼ全体のほ場で給水栓が整備され、必要な時に必要な量の用水を2台のリールマシンにより散水。にんじん、ごぼうの発芽促進、てんさいの活着、干ばつ防止に成果を上げている。特に、にんじんは、平均単収3.7t/10aと町平均2割増しとなっている。

②防除の省力化

ほ場に近接する給水栓により防除用水運搬が軽減され、既存装備の直装式スプレーヤーで効率的な防除作業を行っている。

③地域のにんじん生産体制の推進

JAこしみず人参生産部会の部会長として、地域におけるにんじん生産技術の研修や普及に指導的役割を担うとともに、収穫作業に係るJAの取組である「にんじん生産サポート事業」の事業化を推進するなど、地域を牽引している。



区画整理されたてんさいほ場

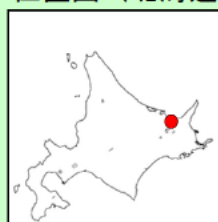


にんじんほ場とリールマシン

事業概要

事業種：畑地帯総合土地改良パイロット事業
 関係市町：斜里郡小清水町
 受益面積：12,910ha
 事業期間：昭和53年～平成21年
 事業目的：用水改良、畑地かんがい、排水改良、
 農地造成、区画整理
 主要工事：ダム1箇所、頭首工3箇所、用水路229.7km、
 排水路9.1km、道路32.5km、
 農地造成453ha、区画整理7,593ha

位置図（北海道）



小清水地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部
 農業振興課 調整係
 電話：011-709-2311
 (内線5684)

(平成28年度調査時点)